

SONANCE

BEYOND SOUND

VISUAL EXPERIENCE SERIES

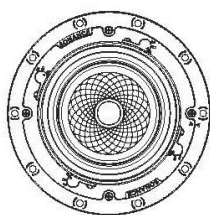
VX42 | VX46 | VX62 | VX66 | VX82 | VX86

VX42R | VX46R | VX62R | VX64R | VX66R | VX82R | VX86R

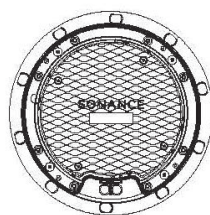
取り付け・サポートマニュアル

VISUAL EXPERIENCE SPEAKERS

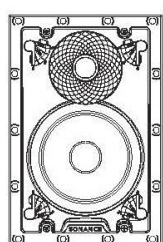
VX42 | VX46 | VX62 | VX66 | VX82 | VX86 | VX42R |
VX46R | VX62R | VX64R | VX66R | VX82R | VX86R



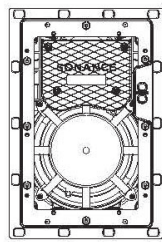
丸型 表面



丸型 背面



角型 表面



角型 背面

目次

- P2. 同梱品リスト
- P2. イントロダクション
- P2. 重要な安全上の注意
- P2. 取り付け方法
- P3. グリル塗装

同梱品リスト

- 1 × カットアウトテンプレート/クイックスタートガイド
- 2 × VX-モデルスピーカー
- 2 × 塗装可能グリル

イントロダクション

Sonance 製品をご購入いただきありがとうございます。
Sonance には 40 年以上にわたるオーディオ業界での経験があります。取り付けによる万一の危険を避けるため、このマニュアルをしっかりと読みになってください。より良い音響パフォーマンスのためにも必ず役立ちます。

重要：スピーカー使用前に必ずこのマニュアルを参照すること。

重要な安全上の注意

人体や物体への発火、感電、怪我などを防ぐため、基本的な安全上の注意を守って取り付けてください。

1. 取り付け前にこのマニュアルを読み、設置後も大切に保管すること。
2. 記載されたすべての警告と注意事項を遵守すること。

取り付け方法

1. スピーカーの取り付け場所を決めてください。
2. 取り付け場所にスタッド、配管、パイプ、暖房ダクト、ポケットドア、空気還流口などがないか入念に確認してください。
3. 取り付け場所に付属のカットアウトテンプレートを取り付け、周囲を鉛筆でなぞりアウトラインを描きます。障害物の有無が不明な場合、アウトラインの中央に小さな穴を開け、針金やハンガーなどを挿入し確認してください。
4. 建材に適した工具を使い、アウトラインに沿って取り付け穴を開けます。その後スピーカーの配線をアンプの位置から取り付け穴まで引き通します。

重要：配線を壁の中に通す前に、必ず地元の建築基準を確認する。

Flex Frame マウントシステムにより、**1-stage** 取り付けまたは **2-stage** 取り付けの 2 通りの方法で取り付けが可能です。下記両方の手順を確認し、最適な取り付け方法を選択してください。

1-stage 取り付け

1. スピーカーモジュールの Flex Frame ラッチが [Lock] 位置にあるか確認します。[Lock] 位置の場合、スピーカーは一体型のままです（図 1 参照）。

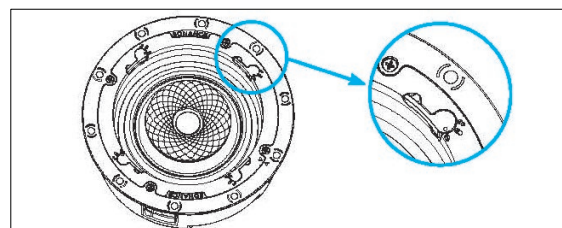


図 1：ラッチが [Lock] 位置にある状態

2. 各スピーカリードの被覆を 6~13 mm 剥き、ばらつかないように撚り合わせるか、はんだ付けします。

重要：ショートによるアンプの故障を防ぐため、必ずワ

ワイヤーの処理をすること

3. スピーカーコネクタはスプリング式のため、各コネクタの上部を押し下げコネクタを開き、ワイヤーを挿入してください（図2参照）。

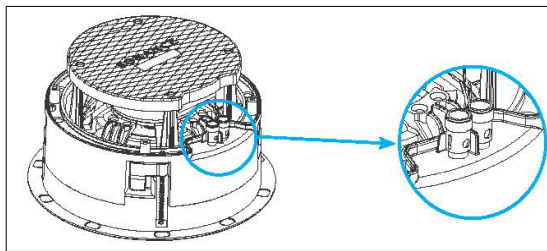


図2：接続ターミナル

4. スピーカーの正極端子には赤い点、負極端子には黒い点が付いています。
5. 接続完了後、アンプの「+」がスピーカーの「+」に、アンプの「-」がスピーカーの「-」に接続されていることを再度確認してください。

ポイント：VX スピーカーには、壁や天井に簡単に取り付けられる RotoLock®マウントシステムが採用されています

6. スピーカーが取り付け穴に収まるよう、Roto-Lock のトグルフィートがすべて引き込まれていることを確認してください（図3参照）。

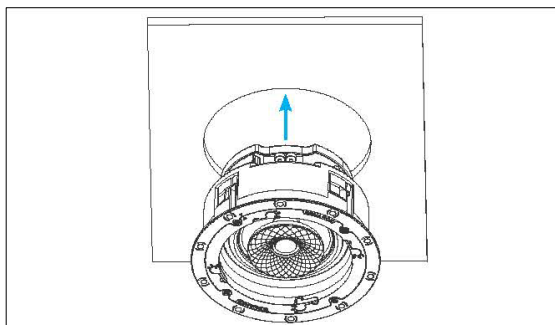


図3：Roto-Lock トグルフィート

取り付け面に厚みがある場合

Sonance の Roto-Lock システムは、出荷時の状態で最大 38mm までの厚みに対応します。さらに厚い基材（最大 54mm）に対応する場合は、スピーカーを取り付け穴に挿入する前に Roto-Lock トグルの先端を取り外してください（図4参照）。

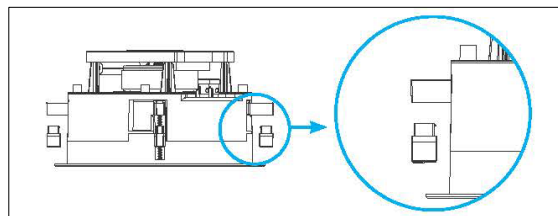


図4：スピーカーを取り付け穴に差し込む前に Roto-Lock のトグルを外す（厚み 38mm 以上の場合）

7. スピーカーを取り付け穴に挿入し、スピーカーバッフル前面の4つのネジを締めて固定してください（図5参照）。

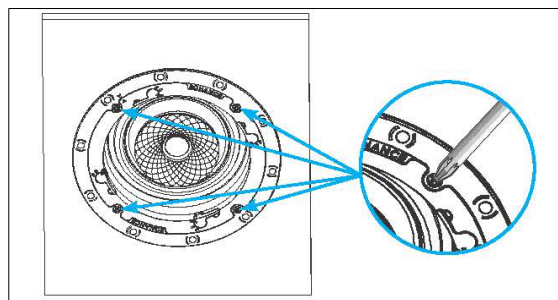


図5：Roto-Lock のねじを締める

8. Roto-Lock クランプは自動的に所定の位置に回転し、スピーカーを固定します。

重要： スクリュードライバーを使用する際は、必ず低速に設定し、ゆっくりと作業し、締めすぎないこと。

重要： グリルをフラットに取り付けるため、Roto-Lock クランプの張力を利用してスピーカーがフラットに収まるよう調整すること。

2-stage 取り付け

2-stage 取り付けはフレームを簡単に保持、配線、固定できます（図6参照）。この機能により、はしごの上からスピーカーを落とすリスクを避け、最大限の視認性と操作性を持って事前配線が行えます。

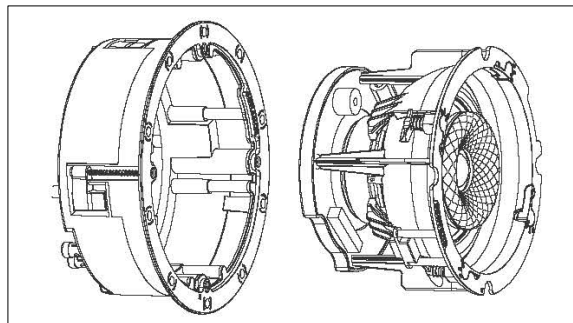


図6：スピーカーフレームとスピーカーモジュール

1. スピーカーの Flex Frame ラッチを親指で押し、

[UNLOCKED] の位置に回転させてください。

2. スピーカーモジュールをフレームから取り外してください (図 7 参照)。

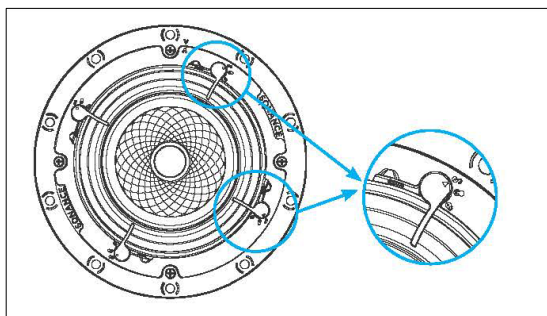


図 7: フレームから取り外す

3. スピーカーモジュールを安全な場所に保管します。
4. スプリング式コネクタ端子を使用し、スピーカーリードをスピーカーフレームに固定します (図 8 参照)。

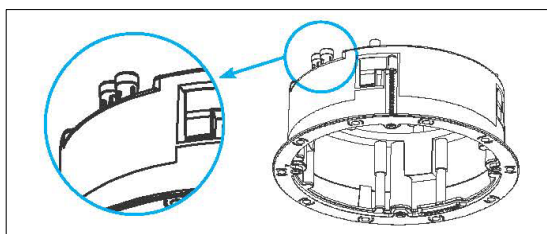


図 8: スピーカーリードを固定する

6. スピーカーのコネクタ端子はスプリング式です。各コネクタ端子の上部を押し下げてコネクタを開き、剥いたワイヤーを端子の穴に挿入してください。
7. スピーカーの正極端子には赤い点が、負極端子には黒い点が付いています。
8. 配線済みの VX スピーカーフレームを取り付け穴に設置します。すべての Roto-Lock トグルフィートが取り付け穴内部に引き込まれていることを確認し、スピーカーフレームを挿入してください (図 9 参照)。

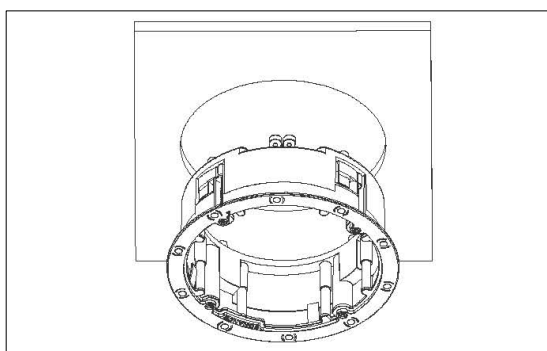


図 9: スピーカーフレームを挿入する

9. スピーカーバツフル前面の 4 つのネジを締めて Roto-Lock トグル足を所定の位置に固定し、スピーカーフレ

ームを表面にしっかりと固定してください (図 10 参照)。

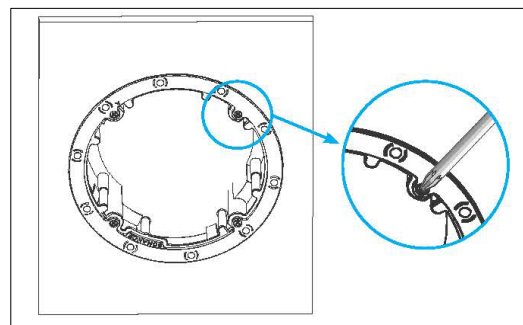


図 10: フレームを固定する。

重要: スクリュードライバーを使用する際は、必ず低速に設定し、ゆっくりと作業し、締めすぎないこと。

10. スピーカーモジュールの Flex Frame ラッチを親指で押し、中間の [HOLD] 位置に回転させてください (図 11 参照)。

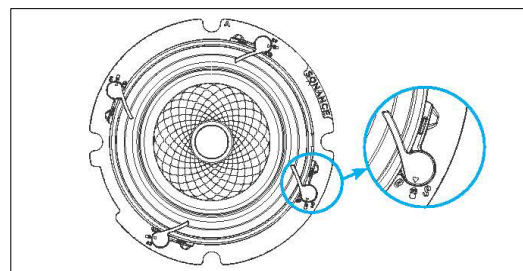


図 11: ラッチを中間の [HOLD] 位置に移動する。

11. スピーカーモジュールをフレームにはめ込む際は丁寧に押し込んでください。スピーカーモジュールの明るい青のアライメントフィンを、スピーカーフレームの青のアライメントノッチと合わせます (図 12 参照)。

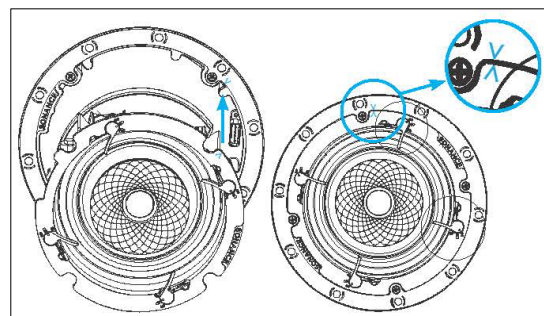


図 12: スピーカーフレームとモジュールを合わせる

12. スピーカーをフレームにしっかりと押し込んでください。「カチッ」という音が聞こえたら、スピーカーは固定されています。スピーカーがロックされていることを確認するために、慎重に手を離してください。

13. スピーカーモジュールの Flex Frame ラッチを親指で押し [LOCKED] の位置に回転させます (図 13 参照)。

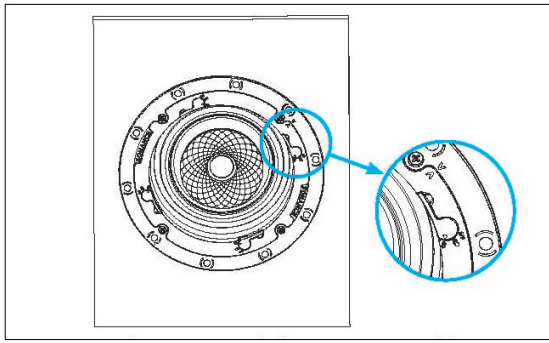


図 13: ラッチを [LOCKED] の位置にする

14. グリルは、スピーカーフレームの強力マグネットによって固定されます。グリルをスピーカーに近づけてください。正しく取り付けられると、グリルのフランジがスピーカーの周囲全体に接触するはずです。

グリルの塗装方法

Sonance Visual Experience シリーズのグリルはスピーカーフレームを完全に覆う設計のため、スピーカー本体への塗装は不要です。

1. グリルの裏面からクロスを取り外し、保管します。
2. グリルにスプレー缶のメタルプライマー/ボンダーを製造元の指示に従って塗布します。
3. グリルには水性ラテックス塗料の使用をお勧めします。塗料を希釈剤で 1:1 の割合に薄め、メッシュストレーナーで塊を取り除いてから使用してください。
4. 塗装には小型のタッチアップガンまたはキャップスプレーガンを #3 のノズルで使用してください。
 - ・ノズルを広い扇型に設定する
 - ・圧力調整器を 60psi に設定する
 - ・約 25cm の距離からグリルの前面に 3 回素早くスプレーします
 - ・塗料を 1 分間乾かし、グリルを 90° 回転させてから再度 3 回素早くスプレーします
 - ・この手順を繰り返し、グリルの 4 面すべてが均等に塗装されるまで続けてください
5. 塗料がまだ湿っている間に、グリルフレームの下に余分な塗料がたまっていないこと、またグリルの穴が塗料でふさがれていないことを確認してください。穴が詰まっている場合は、圧縮空気を使って塗料を穴から

吹き飛ばします。

重要： 塗料が乾いた後にグリルの穴詰まりを見つけた場合は、ピンや針を使って塗料を慎重に取り除いてください。

6. (任意のステップ) グリルの裏面にクロスを取り付けます。塗料が乾いたら、3M Super 76 スプレー接着剤を非常に軽く一度塗布する必要があるかもしれません。
7. 塗料が完全に乾いたら、グリルをスピーカーに取り付けます。